

平成23年度上半期



三島信用金庫からのご報告

平成23年4月1日～9月30日

さんしん

本店営業部2階よりロビーを望む

ポジティブ・アクションを展開！

女性の活躍を推進する計画に取り組んでいます。

さんしんが「地域のホームドクター」としてお客さまの課題の解決と地域の発展に貢献していくためには、男女すべての職員が専門能力に磨きをかけ、優れた人財となることが、最も重要であると考えています。

さんしんは、平成19年に県の「男女共同参画事業所」として認定され、男女がともにいきいきと働く職場環境づくりに取り組んできました。

女性職員の割合が4割を超え、その勤続年数も延びるなかで、女性職員の幅広い活躍が金庫のさらなる発展につながることから、平成23年1月に「女性活躍推進計画(ポジティブ・アクション)」を策定しました。昨年10月には初の女性支店長が、今年6月に2名、10月に1名、初の支店長代理が誕生しました。女性活躍推進計画では女性職員が融資や営業など幅広い分野で活躍することにより、お客さまのニーズに即したきめ細かなサービスが提供できることをめざしています。

女性活躍推進計画は平成23年度から25年度までの3年間を期間として、**〔①女性の職域拡大 ②女性の管理職登用の増大 ③ワーク・ライフ・バランスの実現 ④職場風土の改善〕**を具体的な目標として掲げています。

厚生労働大臣から「くるみんマーク」の認定を受けました

さんしんの子育て支援計画が評価され、厚生労働大臣から子育てサポート企業として「くるみんマーク」の認定を受けました。



女性の力と地域への貢献

理事 坂本由紀子

女性の力を抜きにしては、これからの企業経営は進みません。さんしんの「女性活躍推進計画」は、全体の4割を超える女性職員一人ひとりが、「お客さまのために自分ができることをもっと高めたい」と考えたときに、それを応援しようとするものです。

幅広い知識と地元への熱い思いを持ち、優れた行動力で活躍できる多くの女性職員が育ち、男性職員と力を合わせて、地域の発展に貢献できるさんしんでありたいと思っています。



ポジティブ・アクション
普及促進のための
シンボルマーク

女性営業1年生、毎日が勉強です！

本店営業部 営業係 大森友未

現在入庫5年目、今年4月から営業係となり、7月からは男性営業係と同様に担当エリアのお客さまを訪問し、集金業務に加えて、住宅ローンや個人向けのローン、預かり資産など、お客さまのニーズに合わせた商品の提案をしています。

わからないこともたくさんありますが、丁寧に教えてくれる同僚や上司がいるので心強いです。お客さまには女性営業ならではの話しやすさ、親しみやすさで喜んでいただいています。毎日お客さまと接し、新しい知識が身に付くことが楽しく、目標を達成したときの喜びはまた次の仕事へのやる気につながっています。

これからは、事業所のお客さまの相談にもこたえることができるよう、事業向け融資や決算書の見方などの勉強をしていきたいです！



ポジティブ・アクションの取り組みが国から表彰されました！

女性の能力発揮に積極的に取り組む企業として国の「均等・両立支援企業表彰」に、本年度さんしんが選ばれました。数値目標を掲げて計画的な取り組みを進めていることや理事長直轄の推進室で全国的にも珍しい総合的な取り組みを強力に進めていることなどが評価されたものです。



ポジティブ・アクションを巡るトピックス

- 女性職員のための営業研修、防犯講習会の開催
- 平成22年度男性職員2名が育児休業を取得
- 事務の効率化による省力化
- 女性支店長に続いて初の女性支店長代理が3名誕生
- 創意・自主性を育むため、制服着用を自由化

平成23年度上半期のトピックス

被災地の復興支援・節電

復興支援Tシャツデー

9月12日に「復興支援Tシャツデー」を行い、被災地の子どもたちが描いたイラストがプリントされたTシャツを着用して業務にあたりました。このTシャツはNPO法人グラウンドワーク三島が企画したもので、購入代金の半分が同法人を通じて被災地の支援に役立てられます。



震災・省エネ関連融資

● 3月11日大震災直後から、さんしんは「東北地方太平洋沖地震に伴う緊急支援融資」の取り扱いを開始すると共に、県制度融資「中小企業災害対策資金」および「経済変動対策貸付」等を積極的に取り扱い、当地域中小企業者等の復興支援や金融円滑化に努めています。

9月末までの「緊急支援融資」実行額は51億円となっています。

● 新商品「さんしん省エネサポートローン」の取り扱いを8月1日から開始しました。節電のための設備購入資金とそれに伴う住宅のリフォーム資金を用途とする個人を対象とした低金利商品です。

クールビズの早期実施

毎年実施しているクールビズは、節電を目的に例年より半月早い5月16日から実施しています。上着、ネクタイおよびスカーフ等は着用せず、室内温度を28度にするなど、10月末まで実施しました。

節電対策と結果

今夏の節電対策として照明、空調およびOA機器等を対象に、金庫をあげて取り組みました。その結果、昨年夏の使用電力量から15%削減するという初期目標を達成し、9月現在では前年同期比26.5%の削減となりました。

役職員が義援金に協力

東日本大震災の復興を支援するため、役職員が協力し、信金中央金庫を通じて被災地域へ義援金230万円を送付しました。

地域活動への参加・協賛

みしまサンバ

恒例の夏の行事「みしまサンバパレード」が8月17日に行われました。さんしんは若手職員を中心に141名が参加しました。今年は全員が復興支援Tシャツを着用し、被災地への復興支援を訴えました。



ホームドクター成果コンテスト

さんしんは平成19年からお客さまの悩みや課題にお応えできる「地域のホームドクター」をめざしてさまざまな活動を展開しています。その結果を発表する場として、10月12日に「ホームドクター相談シート部門」と「ZD・QC活動部門」の表彰を行いました。10名、13部室店が表彰され、活動成果を発表しました。

オール伊豆少年野球学童部大会に協賛

8月6日、7日、9日の3日間にわたり、第35回大会が伊豆新聞本社主催で行われました。今年は例年よりも多い43チームの選手が参加しました。さんしんは第1回大会から協賛しています。



しんきん交通安全キャンペーン

7月13日に、三島、沼津、下田、田方、伊豆地区のショッピングセンターやスーパーマーケット等11カ所で「SHINKIN BANK 380万ピカッと作戦2011」を実

施しました。歩行者の交通事故防止を目的とする運動で、反射材も配布しました。



振り込め詐欺防止運動

さんしんは振り込め詐欺の撲滅に向けて、全店に注意喚起の「のぼり」を立てるとともに、未然防止に向けた声掛けを実施しています。上半期では8店舗が詐欺を未然に防止し、そのうち、あしたか、原町、宇佐美、開北、昭和町の5店舗が警察署から表彰されました。



さんしんギャラリー善・夏休みワークショップ

小学4年生から6年生までを対象に、うちの製作や写真撮影など4つのワークショップを「さんしんギャラリー善」で開催、その作品を展示しました。親子で100名を超える参加がありました。



その他の活動

ゆとり倶楽部の旅行

5月26日から6月23日の延べ20日間、さんしん年金友の会「ゆとり倶楽部」の日帰り旅行「国宝久能山東照宮と遠州花めぐりの旅」を催行しました。4,560名のお客さまが参加され、県内唯一の国宝建造物の東照宮を拝観するなど楽しんでいただきました。

ドリームフェスタ

三島南支店新築移転と「サポートセンター夢」開設1周年を記念して、7月12日にさんしんどリームフェスタを「サポートセンター夢」で開催しました。年金相談やAED体験など4つのイベントを開催、また小学生の絵画・新聞も展示しました。



IR経営発表会

「第101期経営発表会“地域経済応援への取り組み”」を7月11日から15日にかけて、修善寺、下田、伊東、沼津、三島の5会場で開催しました。稲田理事長が、平成23年3月期の決算概況と「地域のホームドクター」としての活動を報告しました。



伊東会場

献血に協力

6月16日の「信用金庫の日」に、静岡県信用金庫共同事業として献血に参加しました。さんしんは49名が協力しました。

本店営業部が2011年度グッドデザイン賞を受賞

100周年記念事業として、お客さまへの感謝と街の記憶を未来へ継承することを目的として建設した新本店が、2011年度グッドデザイン賞を受賞しました。

旧本店のイメージを踏襲した建物と、地域の芸術・文化振興をめざして創設された「さんしんギャラリー善」の地域に貢献する姿が評価されました。



平成23年度上半期の業績

平成23年度上半期の国内経済は震災・原発事故による製造・供給ラインのみならず、当金庫営業地域の主要産業でもある観光業をはじめ、あらゆる産業に影響を与えました。復興需要などから緩やかな回復基調の兆しもありますが、一方では欧州経済危機に伴う世界経済の低迷から円高の進行や株価の不安定な動きも続いており、輸出関連産業をはじめ各業界の懸念材料となっています。個人消費は震災の影響で一時は落ち込んだものの、引き締め感に一段落した風潮も見え、今夏の節電・省エネへの対応商品需要等の効果もあり持ち直しの基調が続いています。

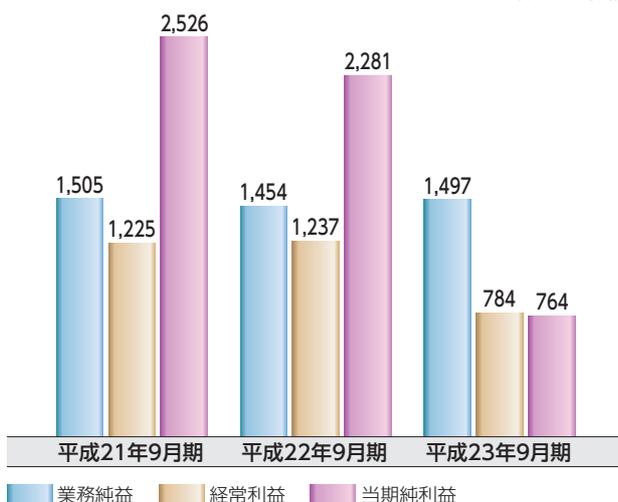
さんしんの業績

上半期のさんしんの業績は、懸賞付定期預金「さんしんうまいモノ定期預金」等キャンペーン商品の取り扱いをした結果、預金積金残高は前年度末比0.21%、16億98百万円増加し、7,744億31百万円となりました。貸出金残高は中小企業向けの融資の強化や住宅ローンの推進を中心に行いましたが、東日本大震災の影響等による中小企業の資金需要の低下などにより、前年度末比0.69%、28億円減少し、4,018億56百万円となりました。

収益面については、金利の低下や経費等が増加しましたが、役務収益およびその他業務収益の増加により業務純益は14億97百万円とほぼ前年同期並となりました。経常利益については、不良債権の増加による貸倒引当金の繰入増加により7億84百万円と前年同期比4億53百万円の減益となりました。以上の結果、当期純利益は7億64百万円となりました。

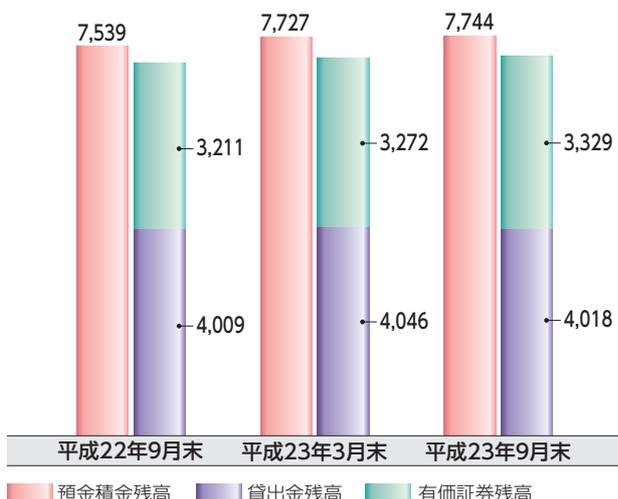
業務純益・経常利益・当期純利益

(単位:百万円)



預金積金残高・貸出金残高・有価証券残高

(単位:億円)



貸出金業種別内訳

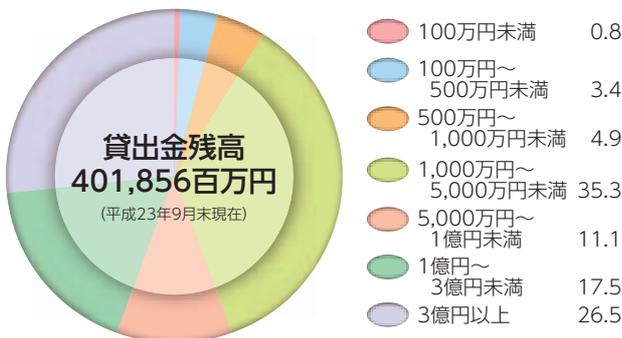
(単位:先数:先、残高:百万円、構成比:%)

	平成23年9月末		
	先数	残高	残高構成比
製造業	1,090	38,643	9.61
農業、林業	38	372	0.09
漁業	14	654	0.16
鉱業、採石業、砂利採取業	2	16	0.00
建設業	1,849	35,785	8.90
電気・ガス・熱供給・水道業	22	294	0.07
情報通信業	43	1,816	0.45
運輸業、郵便業	152	8,579	2.13
卸売業、小売業	1,601	38,755	9.64
金融業、保険業	40	14,725	3.66
不動産業	935	60,036	14.93
物品賃貸業	28	531	0.13
学術研究、専門・技術サービス業	435	6,104	1.51
宿泊業	254	19,261	4.79
飲食業	575	7,261	1.80
生活関連サービス業、娯楽業	356	7,142	1.77
教育、学習支援業	12	1,893	0.47
医療、福祉	239	12,442	3.09
その他のサービス	302	4,975	1.23
小計	7,987	259,295	64.52
地方公共団体	18	31,778	7.90
個人(住宅・消費・納税資金等)	20,952	110,783	27.56
合計	28,957	401,856	100.00

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

貸出金の金額階層別構成比

(単位:%)



さんしんの健全性

自己資本比率は健全性を判断する上で重要な指標であり、資産等のリスクに占める自己資本の割合のことをいいます。さんしんの平成23年9月末の自己資本比率は24.69%で、国内基準の4%を大幅に上回っており、健全な経営体質を表しています。

平成23年9月末の不良債権(金融再生法ベース)は前年度末比62億74百万円増加し437億12百万円となりました。これにより、総与信に対する金融再生法上の不良債権比率は前年度末比1.60ポイント増加し10.67%となりました。なお、不良債権の92.92%が担保・保証等と貸倒引当金でカバーされ、さらに特別積立金743億24百万円を加えると不良債権の2倍以上の額で保全されています。

自己資本額・自己資本比率

(単位:百万円)



■ 特別積立金等からなる基本的項目

■ 一般貸倒引当金等からなる補完的項目

自己資本の構成(単体)

(単位:百万円)

	平成22年9月末	平成23年3月末	平成23年9月末
自己資本額	79,189	78,326	79,018
基本的項目 (Tier 1)	78,270	77,169	77,924
補完的項目 (Tier 2)	918	1,156	1,094
リスク・アセット等計 リスクがある資産の大きさに 応じて0%から150%までの 掛け目をかけた合計	322,222	322,757	320,040
総所要自己資本額 リスク・アセット等 × 4%	12,888	12,910	12,801
基本的項目比率 Tier 1 ÷ リスク・アセット等	24.29%	23.90%	24.34%
自己資本比率 自己資本額 ÷ リスク・アセット等	24.57%	24.26%	24.69%
銀行勘定の金利リスク量	12,544	12,619	4,565

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況

(単位:百万円)

区分	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による 回収見込額 (c)		貸倒引当金 (d)	保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
			担保・保証等による 回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)			
金融再生法上の不良債権	平成23年3月末	37,438	34,976	27,529	7,446	93.42%	75.15%
	平成23年9月末	43,712	40,620	32,799	7,821	92.92%	71.66%
破産更生債権及び これらに準ずる債権	平成23年3月末	10,400	10,400	6,593	3,807	100.00%	100.00%
	平成23年9月末	11,642	11,642	6,887	4,754	100.00%	100.00%
危険債権	平成23年3月末	27,003	24,560	20,923	3,636	90.95%	59.81%
	平成23年9月末	32,009	28,947	25,886	3,061	90.43%	50.00%
要管理債権	平成23年3月末	33	15	13	2	44.86%	9.90%
	平成23年9月末	60	30	25	4	49.74%	13.65%
正常債権	平成23年3月末	375,352					
	平成23年9月末	365,831					
総与信	平成23年3月末	412,790					
	平成23年9月末	409,544					

上記開示額は、平成23年9月末を基準日として自己査定を行い、この結果に基づき算出しております。

同年4月1日から9月末までに倒産・不渡り等、及び業績悪化により債務者区分の引下げがあった債務者についてすべて開示しております。

(注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

3. 「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

5. 「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

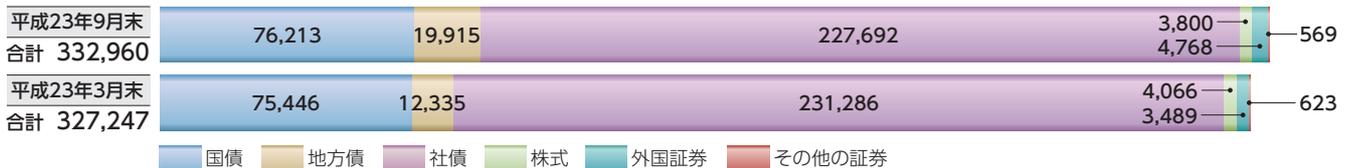
平成23年度上半期の業績

有価証券の状況

皆さまからお預かりした預金積金の42.99%は有価証券で運用しています。上半期はリスクの低い国債や地方債などの債券を中心に購入をすすめ、有価証券残高は前年度末比1.74%、57億13百万円増加し、3,329億60百万円となりました。

有価証券の種類別残高

(単位:百万円)



有価証券の時価情報

1. 売買目的有価証券 該当はありません。

2. 満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種類	平成23年3月末			平成23年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	4,614	4,752	138	5,146	5,335	188
	社債	43,015	43,867	851	42,616	43,460	844
	その他	300	301	1	600	603	3
	小計	47,930	48,921	990	48,363	49,399	1,036
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	114	113	△0	-	-	-
	社債	1,700	1,669	△31	1,900	1,849	△51
	その他	800	797	△2	1,701	1,671	△30
	小計	2,614	2,581	△33	3,602	3,520	△81
合計		50,545	51,502	957	51,965	52,920	954

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

3. 子会社・子法人等株式及び関連法人等株式 該当はありません。

4. その他有価証券

(単位:百万円)

	種類	平成23年3月末			平成23年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	2,680	2,257	423	1,937	1,562	374
	債券	238,017	231,581	6,435	265,240	256,675	8,565
	国債	69,399	67,571	1,828	76,188	73,741	2,446
	地方債	4,661	4,571	89	12,274	12,004	269
	社債	163,957	159,438	4,518	176,778	170,929	5,849
	その他	1,001	829	172	1,439	1,238	200
小計	241,700	234,668	7,032	268,617	259,476	9,140	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	1,325	1,660	△335	1,803	2,265	△461
	債券	31,605	31,999	△393	8,917	8,969	△51
	国債	6,047	6,093	△45	25	25	△0
	地方債	2,946	2,996	△50	2,494	2,497	△2
	社債	22,611	22,909	△297	6,397	6,445	△48
	その他	1,825	2,258	△433	1,420	1,629	△209
小計	34,756	35,918	△1,162	12,141	12,864	△722	
合計	276,456	270,586	5,870	280,759	272,340	8,418	

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

5. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

	平成23年3月末 貸借対照表計上額	平成23年9月末 貸借対照表計上額
子会社株式	10	10
非上場株式	49	49
組合出資金	186	176
合計	245	235

夢輝く未来へ!! ~次の1世紀へ向けて~

創立100周年を振り返って ~さんしんは新たな世紀へ~

平素より、三島信用金庫の業務に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

皆さまからのご支援・ご協力により、当金庫は平成23年1月に創立100年を迎えることができました。次の1世紀に向け、引き続き皆さまから愛され共感される存在になるべく、第一歩を踏み出しました。さらに、地域の皆さまに安心・安全・安定してお取引いただけるよう今後も努力してまいります。

現在、三島信用金庫では、新機能を付加した窓口サービスを充実させることや、災害や環境を考慮した多機能型店舗の設置、医療・介護・農業など新成長分野の育成支援などの業務に取り組んでおります。新しく拡大していく分野への支援と新機能付加という“攻め”と、災害や環境を考慮するという“守り”の両方を併せ持ち、地域とともに発展したいと願っております。

攻守を兼ね備えて、地域の可能性を広げるお手伝いをするためには、職員が働きやすい環境を整えることが必要だと考えております。それは職員が意欲的に仕事に取り組むことで、より質の高いサービスの提供や地域社会への貢献が可能になると考えられるからです。

少子高齢化で人口が減り続けるなか、女性も男性も障がい者も分け隔てなく、すべての職員がさんしんの大切な財産です。男女共同参画へ積極的に取り組み、新会社の設立による障がい者雇用など、職員がいきいきと働くことができる環境を整え、今後も「地域のホームドクター」として地域の活性化に取り組んでまいります。

金融はもとより経営、生活、環境など、皆さまに役立つ情報やメッセージを多く発信していきますので、ご期待願います。

今後とも地域の発展に役職員一同努力を重ねてまいりますので、皆さまにはなお一層のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



理事長 稲田 精治

来年「特例子会社」を設立

平成24年4月にさんしんの子会社として、障がいの特性に配慮した障がい者が主役の「さんしんハートフル株式会社」を設立します。

事業内容は、さんしんが委託する事業を主とし、本社を三島市、営業所を伊豆の国市に置き、平成24年9月より印刷・クリーニング・データ処理・販売促進グッズ調整・環境美化などの作業を行い、障害者雇用促進法上の「特例子会社」として厚生労働省の認定を受ける予定です。



災害に配慮した下田中央支店が新築オープン

下田中央支店が10月11日に新築オープンしました。

同支店は、建物の耐震性能を強化するなど地域の防災拠点としての機能を備えており、下田市とも「津波災害又は水害時における緊急避難施設としての使用に関する協定書」を締結しています。

壁面緑化や緑化駐車場を採用した環境配慮型の建物で、外観は下田市景観計画に沿うように黒なまこ壁をあし



外観



ストリートギャラリー

らったデザインとなっています。また、目や手足の不自由なお客さまへの配慮として、視聴覚障がい者対応ATMやバリアフリーのトイレ、点字ブロックなどの設置もしています。

さらに、ストリートギャラリーと多目的に利用できる大会議室を設置するなど、地域文化への貢献をめざしていきます。

店舗のご案内

(平成23年9月30日現在)

店名	所在地	電話番号
本店営業部	三島市芝本町12番3号	055 (975)4840
西支店	三島市西本町1番21号	055 (971)1940
沼津支店	沼津市大手町5丁目7番10号	055 (962)5481
幸町支店	沼津市市道町7番22号	055 (962)2624
二日町支店	三島市東本町1丁目16番31号	055 (971)1312
大場支店	三島市大場11番地の11	055 (977)1567
修善寺支店	伊豆市柏久保544番地の2	0558 (72)2314
萑山支店	伊豆の国市南条711番地の2	055 (949)2252
大仁支店	伊豆の国市大仁452番地の6	0558 (76)1482
下土狩支店	駿東郡長泉町下土狩1116番地の1	055 (986)2260
湯ヶ島支店	伊豆市湯ヶ島209番地の2	0558 (85)0650
土肥支店	伊豆市土肥466番地	0558 (98)1253
静浦支店	沼津市江ノ浦128番地の1	055 (939)0331
戸田支店	沼津市戸田346番地の3	0558 (94)3130
沼津北支店	沼津市高島本町10番1号	055 (921)0830
原町支店	沼津市原195番地の6	055 (966)1511
裾野支店	裾野市佐野857番地の1	055 (992)3434
三島南支店	三島市新谷155番地の1	055 (971)1881
三島北支店	三島市幸原町1丁目8番5号	055 (986)2151
沼津香貫支店	沼津市南本郷町16番23号	055 (933)0770
あしたか支店	沼津市中沢田282番地の1	055 (921)1134
三島谷田支店	三島市谷田259番地の1	055 (971)0031
函南支店	田方郡函南町大土肥112番地の1	055 (979)1434
田京支店	伊豆の国市田京303番地の10	0558 (76)2434
岡宮支店	沼津市花園町21番地の7	055 (924)3455
開北支店	沼津市北高島町16番15号	055 (922)2131

店名	所在地	電話番号
裾野東支店	裾野市茶畑487番地	055 (993)3411
長泉支店	駿東郡長泉町下土狩96番地の3	055 (973)5551
清水町支店	駿東郡清水町伏見650番地の1	055 (976)0434
松本支店	三島市松本253番地の12	055 (977)2534
片浜支店	沼津市大諏訪646番地の2	055 (925)3773
長岡中央支店	伊豆の国市長岡346番地の6	055 (948)3211
大岡支店	沼津市大岡800番地の1	055 (952)6711
中伊豆支店	伊豆市城57番地の1	0558 (83)0092
西伊豆支店	賀茂郡西伊豆町仁科361番地の1	0558 (52)2378
松崎支店	賀茂郡松崎町宮内350番地の11	0558 (42)0224
函南西支店	田方郡函南町間宮492番地の2	055 (978)3400
川奈駅支店	伊東市川奈1215番地の7	0557 (45)4591
南伊東支店	伊東市桜ガ丘1丁目2番12号	0557 (38)0001
宇佐美支店	伊東市宇佐美1861番地の1	0557 (48)9067
岡支店	伊東市桜木町1丁目4番16号	0557 (37)6137
東伊豆支店	賀茂郡東伊豆町稲取667番地	0557 (95)1251
網代出張所	熱海市網代236番地1	0557 (68)2141
網代駅支店	熱海市下多賀432番地1	0557 (68)2351
熱海支店	熱海市中央町15番2号	0557 (82)0265
昭和町支店	熱海市昭和町15番7号	0557 (82)3235
伊東営業部	伊東市東松原町11番1号	0557 (37)4137
南伊豆支店	賀茂郡南伊豆町石手469番地の1	0558 (62)3366
下田中央支店	下田市1丁目19番1号	0558 (22)3052
伊東駅支店	伊東市湯川1丁目9番20号	0557 (38)1213
河津支店	賀茂郡河津町峰497番地の15	0558 (32)0081
八幡野支店	伊東市八幡野1184番地の1	0557 (54)1122

本 部	駿東郡長泉町下土狩96番地の3	055 (973)5555
-----	-----------------	---------------

サポートセンター	三島市新谷155番地の1 (三島南支店2F)	055 (981)0020
----------	------------------------	---------------

店舗外キャッシュコーナー				
三島市	沼津市役所	伊賀ショッピング	市立伊東市民病院	その他
イトーヨーカドー三島店	伊豆市	アピタ大仁店	ナガヤ宇佐美桜田店	JR名古屋駅 桜通口
キミサワ加茂川店	青羽根プラザ (湯ヶ島)	駿東郡	伊東ショッピングプラザ・デュオ	JR名古屋駅 スカイシャトル
キミサワ耆町田店	修善寺駅	コープ桜づつみ (長泉町)	伊豆高原駅・やまもプラザ	中部国際空港アクセスプラザ
大場駅前	修善寺温泉場	長泉町役場	下田市	富士山静岡空港
三島本町タワー	田方郡	サントムーンアネックス	マックスパリュ伊豆下田店	
三島市役所	キミサワ函南店	裾野市	熱海市	
沼津市	伊豆仁田駅	裾野市役所	多賀	
イトーヨーカドー沼津店	伊豆の国市	マックスパリュ裾野茶畑店	熱海市役所	
キミサワ・グラッテ香貫店	萑山駅	伊東市	賀茂郡	
マミー原町店	マックスパリュ伊豆長岡店	伊東市役所	片瀬白田	

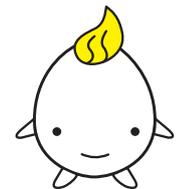


本店営業部

三島信用金庫のプロフィール (平成23年9月30日現在)

創 立：明治44年1月21日
 本店所在地：三島市芝本町12番3号
 本部所在地：駿東郡長泉町下土狩96番地の3
 店 舗 数：52店舗
 職 員 数：839名
 会 員 勘 定：779億円
 会 員 数：63,575名

<http://www.mishima-shinkin.co.jp/>



イメージキャラクター
みゅーくん

三島信用金庫

本誌のお問い合わせ先：経営企画部 ☎055-973-5721



本誌は環境に配慮した、再生紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。